

【太陽光発電による売電事業開始】

～地球温暖化対策に向けたCO₂削減の取り組み～



余暇を通じて人々の夢や幸せ、豊かさ楽しみを創造し追求する企業、平川商事株式会社(本社:大阪府八尾市 代表取締役社長:平川 晴基)では、新たに太陽光発電による売電事業を開始いたしました(2013年4月)。当社グループが運営するパチンコ&スロット ARROW(アロー)4店舗(松ヶ丘店、泉北店、中環塚店、法隆寺店)の屋上に設置した太陽光パネルは、およそ61世帯分の年間電力使用量に相当する約220,000KWh/年※1の発電能力を持つシステムです(4店舗計)。総投資額は6,600万円(4店舗計)で2013年4月より発電、売電を開始いたしました。

当事業は、昨年開始された『再生エネルギー固定価格買取制度』※2を活用するもので、当社グループの環境活動の方向性に準ずる『CO₂を減らす』ための、取り組みの一つです。当社グループは、企業が継続的に存続し、成長していくためには本業の中で環境問題に取り組む事が大切と考えており、当事業において『事業と環境の両立』を目指した活動を実施いたします。

今後も、平川商事グループは、持続可能な社会の実現に向け、環境に配慮した事業運営を行って参ります。

※1 電気事業連合会出典:1世帯当たり3,600KWh/年を参照

※2 経済産業省が2012年7月に開始し、再生エネルギー(太陽光、風力、水力など)を用いて発電された電気を、一定価格で電気事業者が買い取ることを義務付けた制度です。電気事業者への電力供給開始から20年間、固定価格:42円/KWhで買い取ることが義務付けられています。